

トピックス

■政権交代期待52%

5月中旬の各紙世論調査では、岸田内閣支持率は20%・不支持率74%(毎日)

「政権交代を期待する」52%(テレビ朝日系ANN)

・自民党の政治資金規程法改正案に「評価しない」62%(朝日)、裏金実態調査続けるべき80%(毎日)

・4月28日の衆議院3補選(東京、島根、長崎)では、野党共同候補がすべて勝利。自民党は2選挙区で候補者も立てられず惨敗。

いまでも、政治を変えるとき。裏金にまみれ、国民には大増税・大軍拡を押しつける自民党政治は、もう終わらせましょう。



報酬減額で訪問介護がピンチ！

4月の介護保険改定で訪問介護の基本報酬が減額され、多くの訪問介護事業所が減収の危機に脅かされています。ヘルパーの高齢化が進み、ヘルパーの確保が難しい中、報酬引き下げは小さな事業所にとっては致命的です。多くの事業者が訪問介護からの撤退をせざるを得ない状況です。



在宅生活を支えるヘルパーの事業所が減ることは、「いつまでも住み慣れた我が家で暮らしたい」という願いを実現困難にするものです。3年後の改正で見直せばいいという考え方もあるようですが、小さな事業者は持ちこたえられないかもしれません。

また今回の制度改定で「福祉用具の選択制」が導入され「固定用スロープ」「歩行器」「歩行補助杖」はレンタルか購入かを利用者が選ぶことになりました。「毎月お金を払うより買ってしまおう方が」と考える方もおられると思いますが、購入の場合は修理も部品交換も自己負担です。身体状況によっては使えなくなる可能性もあります。安易な購入ではなく、担当の介護支援専門員・包括支援センターなどに相談されることをお勧めします。(東野川在住ケアマネジャーK・M)

■狛江駅北口樹木伐採

・狛江駅北口の噴水横(クスノキなど)と泉の森会館通り(ヤナギ、サルスベリなど)の伐採を市が計画。

・多数の市民・団体が「水と緑のまち」の景観、環境・気候変動などの観点から伐採中止を要望。

・若い人たちがインターネット署名Change.

○らbを開始。署名数500に迫る。

・日本共産党市議団も5月10日に①伐採中止、②専門家による診断を求める「緊急要望」を市長あてに提出。

・駅前の賑わい創出「ほ」道」事業の一環。商業スペース確保および管理の簡素化が真の目的と考えられる。

・都市の森(アーバンフォレスト)育成こそ世界の流れ。

・暑い夏の貴重な木陰。



5月3日の憲法大集会(東京臨海広域防災公園)に狛江からも多数参加。「憲法生かし、平和・命・暮らし・人権を守ろう」

■憲法大集会3・2万人

■路線バスの大幅減便

3月16日の小田急バスダイヤ改定で大幅な減便に。

・喜多見駅ーハイタウン路線の影響が市内最大。11時15時に235分の空白。

・4月11日に共産党市議団と重国たけしが小田急バス本社で、「午前中に病院や買い物に出かけたら、帰るバスがない」など切実な声を伝え、バス増便を要請。

■共同親権導入に反対

・共同親権導入の改定民法が5月17日に国会で成立。

・反対署名は24万人超。実質的な「離婚禁止制度」と批判。

・日本共産党は「子の権利や福祉が損なわれる危険が否定できない」として反対。

■PFAS民間血液検査

・病体生理研究所で4月30日より血液検査開始。

「意見やご要望などお寄せください。」

暮らしのお困りごとなどもお気軽に。

「連絡先」⇒重国たけし

090-1775-9052

sigeny@nifty.com